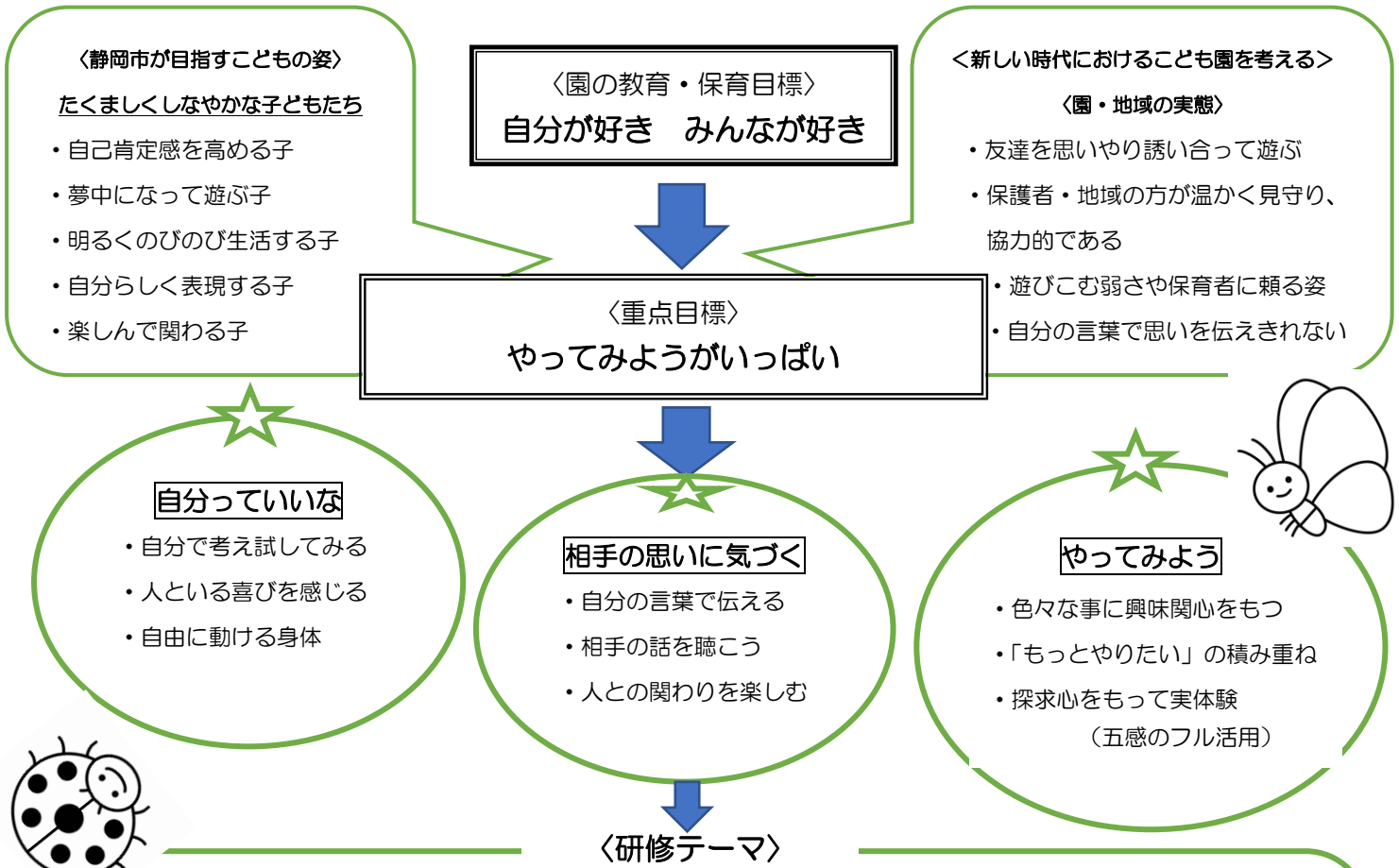


令和5年度 静岡市立原こども園ランドデザイン



☆遊びたくなる（やってみたい）環境を考える


- ・子どもの興味関心に合った環境づくり
- ・身近な素材（廃材など）を有効的に活用
- ・広い園庭・恵まれた自然を生かして実体験を豊かに
原神社や庵原川で遊ぼう、大きな園庭大好き

☆遊びを支える職員たち

- ・子どもの「気づき」に気づける保育者
- ・ユーモアとセンス溢れる保育・教育
- ・子どもの姿を語り合える集団
- ・保育者も「やってみよう」に溢れる思い

〈学年目標〉

- 0歳児：安心できる保育者が見守る中で探索をしてみようとする
- 1歳児：自分の思いを出し安心して好きな遊びを楽しむ
- 2歳児：自分の思いを言葉や態度で表しながら、保育者や友達と遊ぶことを楽しむ
- 3歳児：自ら遊びを見つけ、自分の思いを伝えながら友達と一緒に遊ぶ
- 4歳児：友達との関わりを深め、イメージを共有して遊ぶ
- 5歳児：友達の良さを認め合いながら協同して遊ぶ



〈家庭・地域の連携〉

- ・子育ての楽しさを共有（保育参加会など）
- ・日々の教育・保育を伝える（ポートフォリオなど）
- ・地域との交流（JA 事業・消防団交流など）

〈安心・安全で多様な子どもが共に育つ場〉

- ・避難訓練・不審者訓練・交通安全指導・食育活動・様々な状況下での安全な保育の工夫
- ・インクルーシブ教育、保育…サポートプランをもとに具体的な支援・関係機関との連携。職員間の共通理解

〈近隣園・小学校・中学校との連携〉

- ・子ども同士の関わり（庵原小学校1・5年生交流など）
- ・職員同士の関わり（スタートカリキュラム連絡会・公開授業・公開保育など・交流の工夫）
- ・近隣園との身近な交流